

オスカー・ワイルド研究

第 7 号

目 次

巻頭言	日本ワイルド協会会長 玉井 暲
《論文》	
行為としての批評—— <i>De Profundis</i> 論——	鈴木 英明 (1)
完璧主義者ワイルドの美学、そしてその崩壊	川崎淳之助 (15)
《日本ワイルド協会第 29 回大会 シンポジウム》「ワイルド文学と身体」	
解体される“Posing Wilde”	司会・講師 河内 恵子 (33)
サロメ、「首切断」のその後	
——身体破壊の現代美術的コンテクストをめぐって	講師 阿部 公彦 (37)
踊るサロメ	
——フロベール・ユイスマンス・ワイルド——	講師 真屋 和子 (45)
批評の修辭的身体	講師 玉井 暲 (55)
《最近のワイルド批評》	
定本確立の試みと批評の展望	坂本 光 (61)
《計報》	
「勇者のみ」の美学——西村孝次先生を偲んで——	荒井 良雄 (73)
山田勝先生を悼む	玉井 暲 (75)
執筆者略歴	(76)
会員業績 (2004 年 4 月～2005 年 3 月)	(78)
学会記録	(80)
日本ワイルド協会規約	(82)
『オスカー・ワイルド研究』投稿規定	(84)
編集後記	富士川義之 (86)